

かゆみ治療の心得

かゆみ治療を良好に進めていくために、次のポイントを押さえましょう。

かゆみを上手に伝える。



お薬を指示通りに服用するまたは塗布する。



日常生活でできるかゆみ対策をしっかりと行う。

血液透析患者さんのなかには、かゆみを常に感じているために、気にしないようにしていたり、治療をあきらめている方もいらっしゃるかと思います。最近では血液透析患者さんのかゆみの研究が進み、新しいかゆみ治療薬も登場しています。かゆみでお悩みの方は、ぜひかゆみチェックリストを用いて、医師や医療スタッフの方々にご相談ください。

病医院名

血液透析療法を受けている方へ

このかゆみのつらさを伝えてみませんか？

かゆみを上手に伝えてみましょう



かゆみは誰でも感じることでできる症状なので、感覚としては共感されやすいのですが、そのつらさとなるとなかなか伝わりにくいものです。とくに、血液透析患者さんのように慢性的に感じているかゆみのつらさを伝えるのはとても難しく、お悩みの方もいらっしゃると思います。そこで、次ページのかゆみチェックリストを活用して、かゆみを上手に伝えてみましょう。

監修：高森建二先生（順天堂大学 名誉教授）

